

(選択必修科目)インターンシップ 旅費支給規程について

H29 年度までの国内外のインターンシップ実施数は海外 16 件、国内 17 件にのぼる。これらの実績データをもとに、従来実施の学生と比較して大きな支援差のない範囲で、インターンシップ(国内/海外、短期/長期)にかかる経費支援ルールを改定する。

H29 年度までのインターンシップ旅費支給内規

- 長期で 60 万円、短期で 45 万円を上限とし以下を支給する。
 - 現地までの往復交通費：規定額（航空券は実費支給）
 - 滞在費（宿泊費、食費、現地交通費に相当）：上限 5,000 円／日
- 予防接種費用（HWIP が認めたもの）、ビザ申請手数料については上記限度枠外で支給する。

H30 年度 インターンシップ旅費支給内規

- インターンシップ実施期間(日数)に応じて、次の計算で支給上限額を定める。
 - 【海外】
$$\text{上限額} = \min\{\text{¥}600,000, (280 + \text{実施日数} \times 4) \times \text{¥}1,000\}$$
 - ※ 予防接種費用やビザ申請手数料等、プログラムが実施に必要と認めた経費もすべてこの上限の範囲内とする。
 - 【国内】
$$\text{上限額} = \min\{\text{¥}600,000, (90 + \text{実施日数} \times 4) \times \text{¥}1,000\}$$
- 具体的には次のルールで支給する
 - 現地までの往復交通費：規定額（航空券は実費支給）
 - 滞在費（宿泊費、食費、現地交通費に相当）：上限 5,000 円／日

参考(裏面)：履修生ページ「インターンシップ科目」説明(必要部分抜粋)



インターンシップ(国内・海外)

目的と概要

自らで考えた目的意識を明確に持ち、企業または研究機関等で一定の期間実施体験を行うことで、融合領域研究によるイノベーションにつながる新しい業界・企業・研究分野についての知識及び実践的な能力を身に着ける。なお、国内外の長短期、どれか一つを履修することが必須になっている。

とにかく目的意識を高く持つこと。「自分が学んで何かを得る」だけでなく「訪問先に何かの寄与をする」というOutputの意識も高く持つように（企業でも研究機関でも同じことです）。

対象学年

3 年次、4 年次。（ただし低学年の先取りなども認める）

インターンシップ対象期間（事前準備・参加期間・事後活動を含む期間）

- 国内：短期3か月で2単位、長期6か月で4単位。
- 海外：短期1.5か月で2単位、長期3か月で4単位。
- 注）国内、海外のいずれであっても、事情があれば、参加期間（インターン先への最初の出勤日から最終の出勤日まで）が短い物も認める（この場合は4週間で1ヶ月とみなし、対象期間の3分の2以上であること）。この場合、阪大等にいながらの準備・事後活動の期間を含めて対象期間を満たすこと。例えば海外短期であれば、1か月の渡航と半月の準備・事後活動など。
- 注）事情に応じて、活動期間が連続していなくても良い。原則として、2回の合算を限度とする。下記プロセス3などで、不連続活動が認定されること。

成績

○ レポートによる評価。素点ではなく可否とする。

具体的プロセス（詳細は「手続きフロー」を参照）

- インターン先などのアンケートに回答。（2年生の期末～3年生の最初）
 - インターン先が未定である場合も希望も含めて回答する。
- 履修（その年度に行く予定がある場合。※行く/行かないのどちらに予定が変わっても対応可能です）
 - 低学年の先取り履修も可能。（別途履修申請）
- 申請書等提出（「手続きフロー」を参照）
 - 申請書（報告書）には指導教員による認定が必要。
 - 状況により事後提出を認める場合もある（別途履修申請）。
- インターン実施
 - 国内・海外、それぞれのルール（実施前に通知）に従い、定期的な安否確認連絡などを行う。
- レポート提出
 - インターン期間（事前・事後期間含む）後4週間以内。口頭発表等も依頼することがある。

費用補助概要

- 大阪大学旅費規則の範囲内で、年度ごとに、学年や派遣先などに応じた補助を行う。
 - インターンシップ先からの費用援助が無い項目に対して適応される。（二重補助は不可）
 - 参加前の事前申請のみ認める。（参加後の支払いなどは不可）
 - 原則として現地までの往復交通費の援助は一回の期間に限る。
- 不連続活動が認められた場合、金額も含めた状況により、二回までのサポートを認めることもある。

その他

- 上記取扱いにおいて、定めのない事項についてこれを定める必要があるときには、別途協議のうえ、これを定めるものとする。